

くるにゃん通信



← 公式ホームページ QR コード ←



今回は私の仲間が
お知らせしますにゃん。

マスコットキャラクター
「くるにゃん」

●ケアプランデータ連携システム

来春スタート予定！

そりゃ、
なんにゃん？



毎月、月末・月初は提供票配りや実績入力で忙しいと感じているケアマネジャーは多いのではないのでしょうか。数字とにらめっこするにはうんざりと感じている方もいらっしゃると思います。

そんな方に朗報です。令和5年4月から「ケアプランデータ連携システム」がスタートします。このシステムを簡単にお伝えすると、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所間で毎月やり取りしているサービス提供票（予定・実績）をデータでやり取りするシステムのことです。システム導入に向けての料金はまだ明示されていませんが、事業所に過度の負担とならない料金設定で検討されています。

このシステムを導入することで、ケアマネジャーが本来大切にしたいと願う利用者とかかわる時間が増えることが見込まれ、その先にケアの質が向上することを目的としています。

にゃんだらおー！



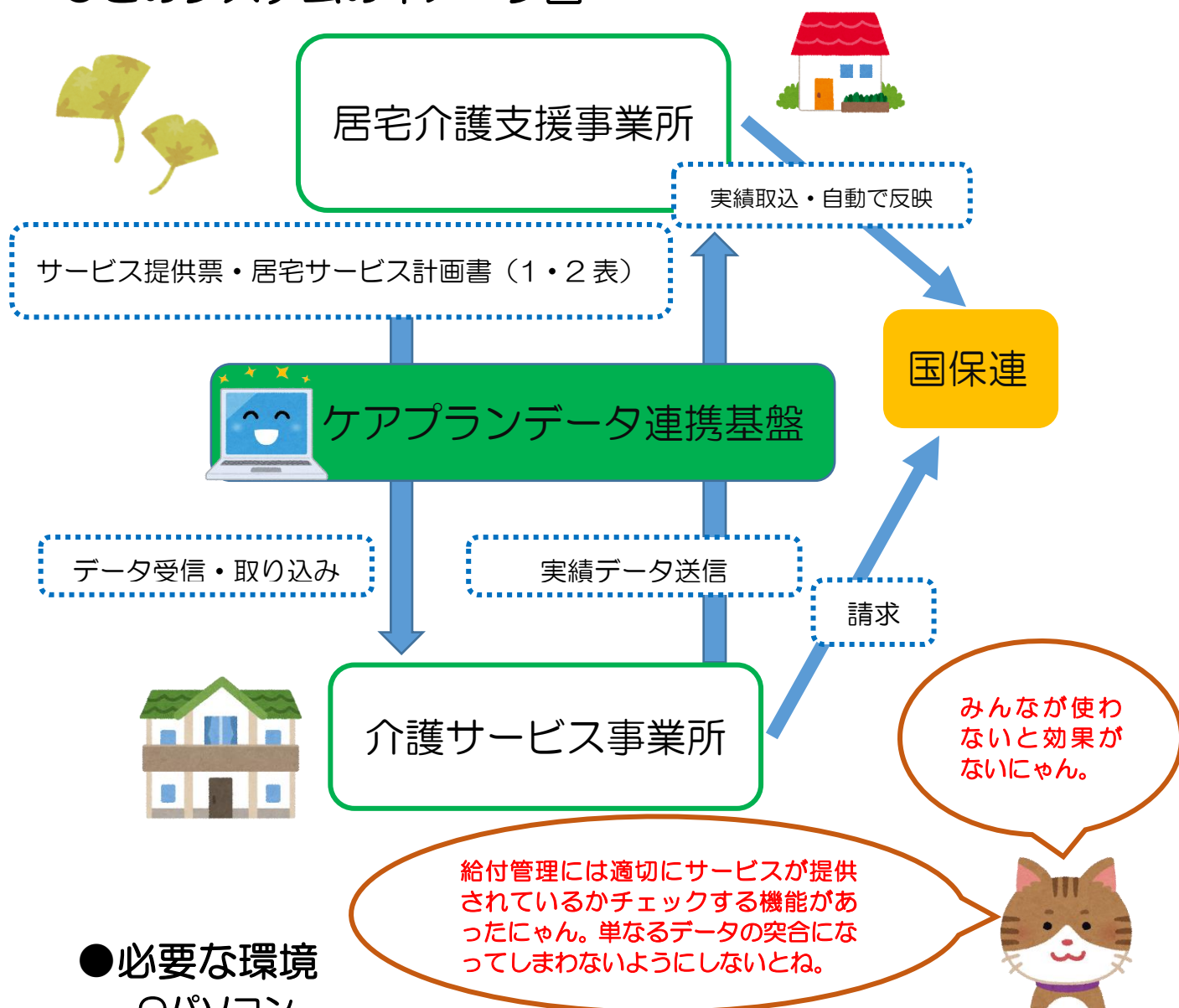
●このシステム活用による効果

入力時間・転記誤りが減り、ケアマネジャーの負担が減る。人の手間・印刷費・郵送費・交通費・FAX費が削減できる。



利用者支援にかける時間
が増し増し↑に。
ケアの質が向上する。

●このシステムのイメージ図



●必要な環境

- パソコン
 - 厚生労働省のケアプラン標準仕様に準拠した介護ソフト
 - 介護給付費請求に使用する電子証明書
 - ケアプランデータ連携クライアント
- (※システム利用申請後に利用可能になるため、事前の用意は不要)

●利用料金

先行事例や先行研究等を参考に検討中



現在、システム開発中であり、2月からパイロット運用、令和5年度から本稼働予定です。今後の新しい情報に、乞うご期待を。詳しくは、[介護保険最新情報 Vol.1096](#)をご確認ください。

提供票のやりとりはケアマネとサービス提供事業所との情報交換や信頼関係構築に一役かっていた側面があります。このシステム導入によって、関係づくりの方法も変えていく必要があります。Vol.1095では介護事業所だけでなく医療機関等とのデータ連携の標準仕様が示されています。

とびくす

「えひめ認知症希望大使」誕生 ♥

みなさんは、「認知症希望大使」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか？R1年6月18日に国から発表された認知症施策推進大綱の中に認知症に対する、普及啓発・本人発信支援という施策が位置づけられています。これは、認知症の人が自ら認知症の普及啓発活動を行っていく！という取り組みです。現在、国から任命された5名の全国版希望大使が活動しており、各都道府県を中心に地方版希望大使の任命が進められています。そして、ついに愛媛県でも去る10月1日松山市総合福祉センターにて委嘱式が執り行われ2名の「えひめ認知症希望大使」が誕生しました。この度大使に任命されたのは、四国中央市在住、高橋弘子さんと、松山市在住で若年発症の宮脇勝さんです。以下、お二人の意気込みをご紹介します！



認知症になって自宅にこもりがちになるのではなく、もっと外に出て活動していこう！失敗を恐れずにチャレンジしよう！

(宮脇 勝さん)



一人で悩みを抱え込まずに、周囲に相談していこう！自分自身の経験を生かして、同じ立場の方の悩みを聴いていきたい。

(高橋 弘子さん)

私達ケアマネジャーも、大使を始めとする認知症ご本人の思いに心と耳を傾けて、日々の業務に生かしていきたいですね!!

えひめ認知症希望大使に関する問合せ先

希望大使のお二人は愛媛県から委嘱を受け活動しております。活動内容として、認知症に対する普及啓発活動の参加・協力、認知症サポーター養成講座での発信、ピアサポート活動などです。希望大使への活動依頼は以下へお問合せ下さい♪

愛媛県松山市一番町四丁目4番地2
愛媛県保健福祉部生きがい推進局
長寿介護課介護予防係
TEL：089-912-2431
FAX：089-935-8075

若年性認知症支援コーディネーター 相談窓口のご紹介

愛媛県からの委託事業として、若年性認知症支援コーディネーターを設置し、若年性認知症に関する相談をお受けしております。主な活動内容は、電話相談・個別支援・各関係機関との連携・普及啓発・交流会開催等です。若年性認知症に関するご相談があればお気軽にご連絡下さい。

連絡先：070-3791-0342 (担当：横田)

<委託先>

(社福) 慈光会ていれぎ荘
松山市水産町 405-1



研修会報告

令和4年度ステップアップ研修初級 令和4年9月17日(土) 13:00~15:30 開催

「目標指向型の介護予防プランを作成するためのポイント」

講師 上本 恵子先生(松野町役場 保健福祉課 地域包括技官)



ファシリテーターとして参加して

楠 千津(西予市地域包括支援センター)

どんどん
ささやくよ~

ファシリテーターとして参加することになってしまいました。今までファシリテーターもどきの経験はあっても、オンラインの研修会でファシリテーターとなると話は別です。丁重に「用事があるから」とお断りしましたが事務局の河野さんの悪魔のささやきで、うっかり受諾のお返事をしてしまいました。当日は上本先生の講義の後、グループワークです。オンラインの研修が多くなり受講には慣れてきましたが、ブレイクアウトルームに別れた瞬間から頭は真っ白、自分が何を言っているのやらわけが分からなくなって、拳句にイヤホンからの声が途絶え手をあげてスタッフの方に助けを求めました。その光景を見ていた受講生の皆様、ご迷惑をおかけしました。対面でのグループワークとは違った緊張の中で意見をまとめきれない内にタイムアップとなった感がありました。反省点の多いファシリテーターでの参加でしたが、大変貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

受講者としての感想

池田由岐(宇和島市社会福祉協議会 宇和島介護保険事業所)

介護予防のケアマネジメントには、より細やかなアセスメントが必要であると感じました。要介護の方より“自分でできる部分が多い”故に出来ることへ視点を転換します。できないことをいかに補うかということよりも「できること」「したいこと」に着目した支援を検討することで本人の意欲が向上します。“介護保険サービスを出発点としない”支援や事例検討にもあったように地域資源を活用するために広い視野を持って資源を把握することでケアマネジメントに活かせるよう、日々研鑽を積んでいきたいと思えます。



ちょっとひと息



うちのくるにゃん ~保護猫編~



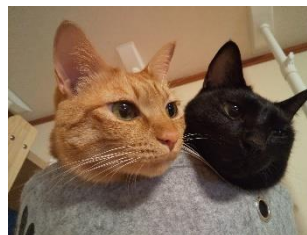
2019年10月東予地区
ある農道にて保護

とある企業のCMに立候補
しようかと(笑)



茶ちゃ(茶トラ)くる(黒猫)

見た目そのままです



10/16に保護しました。
里親さんも決まりました!

愛媛県では殺処分される犬猫がたくさんいます。

地域猫活動がしやすくなり、猫もなるべく生きやすくなる世の中
になってほしいです。(飯尾)

発行元

一般社団法人
愛媛県介護支援専門員協会
〒791-0844
愛媛県松山市水産町90-1
愛媛県介護支援専門員協会事務局
Mail:ecma20150418@gmail.com

編集後記

くるにゃん通信11号の編集はコロナ禍であり、ZOOMで集まって和気あいあいと今後のケアプランデータ連携システムの動向や認知症大使、ICTの活用など話し合ってきました。今後も皆さんの関心のある内容を発信していきます。

寒くなり、コロナやインフルエンザの同時流行が予測されると、報道されていますが、報道に翻弄されることなく、健康に注意しながら、笑顔で楽しんで仕事をしていきたいですね。(松本)